

学校運営協議会だより



令和6年7月16日発行 第1号

令和6年度の第1回紋別地区特別支援学校学校運営協議会を、7月2日(火)、紋別高等養護学校で開催しました。会合には、昨年度に引き続き、北海道紋別養護学校、北海道紋別養護学校ひまわり学園分校、北海道紋別高等養護学校の特別支援学校3校が所在する遠紋地域から、学校運営協議会の趣旨に御賛同いただいた協議会委員の方々が出席されました。今年度は数名の委員と両校の校長が代わりましたが、昨年同様に和やかな雰囲気の中、積極的な発言や提案がありました。

学校運営協議会（コミュニティースクール）について

地域社会に開かれた学校づくりを目指し、令和5年度より学校運営協議会（別名コミュニティースクール）を発足しました。年3回の協議会では、学校をよく知っていただき、学校の困り感を伝える中で、委員の皆さんがもっている知識や人脈などを提供いただいたり、それぞれの学校運営に貴重な御意見をいただいたりするなど、教育活動の充実・発展に向けて地域の方々の御支援をいただいています。現在、遠紋地域では、紋別養護学校とひまわり学園分校、紋別高等養護学校の3校で地域資源を競合せず、互いの情報を共有しながら協同することを目指して学校運営協議会を合同で開催しています。

第1回目の会議では、昨年度の協議の「成果」と「課題」を明確にし、今年度の「協議のポイント」に沿ったかたちで熟議を進めました。年3回を予定している会議ですが、今後この3つの点に常に触れながら取り組みます。また、今年度はより各校の取組を具体的に深め（進め）ていけるように、各校ごとの協議グループに分け、各校のニーズを十分に踏まえた熟議ができるようにしました。

【R5 成果】

- ・ 地域の人材や教育資源の発見
- ・ 異なる職種の立場から、多角的なアイディア
- ・ 人と人、組織間のつながり、広がり
- ・ 各学校の取組や実態を、地域全体として把握、共有できた
- ・ 各学校の課題、要望等を、地域全体として把握、共有できた

【R5 課題】

- ・ 1校当たりの情報提供、説明時間が不足
- ・ 各校の議論を深く掘り下げる時間が不足
- ・ 委員は発言内容が焦点化しにくい（各校の事情や取組の違いにより）
- ・ 委員と学校の具体的な連携が難しい
- ・ 委員の出席（移動）に係る負担が大きい
- ・ 自校教職員の協議への参加が難しい

【協議のポイント】

- (1) 地域や学校の行事・イベント等について共有した情報をもとに、地域の行事等への学校の参加・協力（又は学校の教育活動への地域の方の参加・協力）について協議し、実際に動き始める。
- (2) 実際に動き始めるに当たり、キーマンとなる地域の人材を明確にし、具体的なスケジュールを決める。
- (3) 商工会議所と学校が生徒の卒業後の状況について情報を共有し、今後の具体的な取組を決める。
- (4) 地域の方と教職員とのつながりをさらに広げ、深める。
- (5) 学校と地域の連携の中で、PTAをどのように巻き込んでいくか。
- (6) 報道機関等と連携し、学校の取組を地域に発信する。

《協 議 の 要 旨》

《紋別養護学校》

- ① 発信について
 - 困っていること、課題を具体的に言葉にして、発信することの大切さ。
 - 子供たちの活動に必要な雪山づくりや画材等寄付など、委員から知人へ働き掛けてもらう。
- ② 地域との関わり
 - 港まつり（まんぷく横丁）などを活用して、児童生徒や保護者が地域行事に参加しやすい環境づくり。
 - 学校に来校していただくだけでなく、積極的に児童生徒や保護者が地域に出ていく場の創出。
 - 花壇の除草、地域の方の教育活動や余暇活動への参加・協力を積極的に働き掛ける。
 - 地域への協力をもっとアピールする。

《紋別高等養護学校》

- ① 生徒たちがもっと地域と関わるためには。
 - 学校のことや生徒のことを地域の人に知ってもらうことが必要。
 - 商工会議所の企業ネットワークを活用した周知。
 - 製品の即売会などの拡充。
 - 地元紙などをもっと効率的かつ積極的に活用。
- ② 同世代との交流を活発にできないか。
 - 市役所や商工会議所の職業体験支援や中高生のインターンシップを活用しての交流。
 - 対等な関係として関わることをねらいとする重要性。
 - 紋別養護学校との交流。（道路の清掃活動等を通して）

《紋別養護学校ひまわり学園分校》

- ① 地域参加について
 - 地域行事の秋祭り（模擬店、御神輿、相撲大会）への参加協力を望む声があるが、学校の休業日に当たることが多く、参加しにくいのが現状。
 - 盆踊りを地域の方を招いて教えていただくなど、地域の楽しみを学校の中で味わえるように地域の人材を活用できないか。
 - 囲碁教室、読み聞かせなど地域ですすでに取り組んでいることもある。活用可能である。
 - 地域の行事も取り組み方を工夫しながら、学校が関わりやすいかたちに模索してみる。

本協議会は、紋別高等養護学校、紋別養護学校、紋別養護学校ひまわり学園分校の3校が合同で開催する学校運営協議会（コミュニティースクール）です。